# 平成 24 年度　事務事業事後評価調書（平成　23　年度事業）

| 整理番号 | 5 | ー | 54 |
|---|---|---|---|

## 1　事務事業の表示

※ ■ ： 該当

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 事務事業名 | 沢木住民センター建設事業 | | | | | |
| 評価者 | 担当課名 | | 保健福祉課 | 担当係名 | | 社会福祉係 |
| | 管理職 | 職名 | 課長 | 作成者 | 職名 | 係長 |
| | | 氏名 | 山 崎 佳 之 | | 氏名 | 渡 部 憲 一 |
| 事業の概要 | 沢木地域住民の活動拠点となる施設「沢木公民館」と高齢者等の憩いの場となる施設「沢木寿の家」は、いずれも老朽化が進み、地域のニーズに合った利用が難しくなってきたことから、２施設の性質を統合した施設「沢木住民センター」を建設し、地域住民や高齢者はもとより、様々なニーズに対応できる施設づくりを目指す。 | | | | | |

| 全体計画 | /単年度のみ | |
|---|---|---|
| （平成 23 年度～ | 23 年度） | |
| 事業費 | 国・道支出金 | 千円 |
| | 地方債 | 199,500 千円 |
| | その他 | 千円 |
| | 一般財源 | 7,500 千円 |
| | 事業費計 | 207,000 千円 |

| 実施方法 | ■ 直営 | 民間委託 | その他（　　） |
|---|---|---|---|

| 第５期 総合計画（前期） | ■ 登載事業 | 非登載事業 | 優先度 | A |
|---|---|---|---|---|

| 事業の位置付け | | |
|---|---|---|
| 政策目標 | 2 | ぬくもり・雄武～保健・医療・福祉の充実～ |
| 基本施策 | 10 | 地域福祉の推進 |
| 単位施策 | 3 | 地域の「たまり場」づくりの促進 |
| 事務事業の種類 | ■ 自治事務 | 法定受託事務 |
| その他計画・根拠等 | | |

| 事業費 実施年度 | 20年度（実績） | 21年度（実績） | 22年度(実績) | 23年度(実績) | 24年度(見込) |
|---|---|---|---|---|---|
| 国・道支出金 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他財源 | 千円 | 千円 | 千円 | 192,900 千円 | 千円 |
| 雄武町負担額（一般財源） | 千円 | 千円 | 千円 | 6,596 千円 | 千円 |
| 合計 | 千円 | 千円 | 千円 | 199,496 千円 | 千円 |

## 2　事務事業の目的・内容（Plan・Do）

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 【誰、何が（対象）】 | 地域住民等の活動拠点施設 | 望ましい指標（目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標） | | |
| 【抱える課題やニーズは】 | 施設の老朽化。 | 施設建設数 | | |
| | | 指標（指標計算式／解説） | 目標値及び実績値 | |
| 【どのような状態になることを目指したのか（意図）】 | 活動拠点の整備と統合化。 | ① 施設建設数 | 目標年度 | 平成23年度 |
| | | | 目標値 | 1 施設 |
| | | | 実績値 | 1 施設 |
| | | | 達成度 | 100.0 % |
| 【その結果、どのような成果を実現したいか】※成果＝目的 | 地域住民活動の拠点施設を整備して利便性を向上させつつ、地域住民の社会参加、生きがい活動の促進を図る。 | ② | 目標年度 | |
| | | | 目標値 | |
| | | | 実績値 | |
| | | | 達成度 | % |

| 内容（どのような手段で何を行ったか） | |
|---|---|
| ①施設建設工事 | 沢木公民館解体跡地に沢木住民センターを建設した。 |
| | |
| | |

## 3 事務事業の評価（Check）

（1）事務事業の必要性（町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性）

| | | |
|---|---|---|
| **必要**<br>必要／概ね必要／課題あり | □義務的なもの<br>□全部<br>□一部 | 地域住民の社会参加、生きがい活動の促進を図るため、拠点施設の整備は必要性が高い。 |

(2)事務事業の有効性（期待する効果が得られたか）

| | | |
|---|---|---|
| **有効**<br>有効／概ね有効／課題あり | 設定した目標値の達成状況<br>■達成<br>□ほぼ達成<br>□下回る | 新たに施設を建設したことで、利便性が向上し、様々なニーズに対応することが可能となった。 |

(3)事務事業の効率性（コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか）

| | | |
|---|---|---|
| **効率的**<br>効率的／概ね効率的／課題あり | 判断の理由<br>■事業費抑制<br>□人員削減<br>□時間短縮・作業軽減<br>□その他 | 旧施設の跡地を活用し建設地取得の面で合理的となった。<br>入札執行し適正価格で工事を発注した。 |

(4)事務事業の公平性

| | | |
|---|---|---|
| **公平**<br>公平／概ね公平／公平でない | 判断の理由<br>□受益者負担がある<br>□受益者負担がない<br>□受益が一部に偏る<br>■その他 | 地域住民が広く利用できる施設であり、その建設成果は公平と言える。 |

## 4 総合評価【A～D】

A：計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当　等
B：ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要　等
C：当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要　等
D：事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要　等

| 自己評価（一次評価） | 評価会議評価（二次評価） | 町長評価（三次評価） |
|---|---|---|
| A | | |
| 地域住民が広く利用できる施設が完成し、所期の目標が達成された。 | | |

**今後の展開方向**
（Action）

| | | |
|---|---|---|
| **終了** | | |
| 予定していた施設建設が完了した。 | | |

＊展開方向の区分
○ 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更　○ 終了　○ 休止　○ 廃止

## 5 その他特記事項（アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入）

| |
|---|
| |